

# 安心安全な豊受野菜で健康スープ

## 強力抗酸化作用がある

### ファイトケミカルが大事

第13回日本の農と食を考えるシンポジウムで基調講演した由井真子日本豊受自然農代表は、免疫力を上げる新製品「パバジスープ」を詳しく説明した。

由井代表は始めに「食べるワクチンがある事を皆さんご存知でしょうか」と言っておく。その「食べるワクチン」の開発について次のように述べた。

#### バナナワクチン

「最初は1990年にテキサス大学の博士が、開発途上国の子どもたちに高価なワクチンを行き渡らせることは難しい。そこでバナナワクチンを作ったのだらうかと考えたわけです。病原体の

て、二度と入るなどほかり、アレルギー反応が起るようになります。ですから、食べるワクチンでは、一度に大量の異物が入り、免疫系が混乱し、一気に慢性のアレルギー状態にし、IgE抗体が作られるように作られているのではないかと推測しています」と。

最新の食べるワクチン開発について次のように話した。

「野菜にワクチン、今、新型コロナウイルスの

るワクチンを開発しようとしているのが、カリフォルニア大学のファン・パロ・ジラルド准教授です。ほうれん草やキャベツなどの野菜に新型コロナウイルスのワクチン成分を貯蔵する研究を進めていることを発表しました。フ

アイサーやモデルナの遺伝子ワクチンと同じように、mRNA入りの食べる遺伝子ワクチンを作ろうとしています。

私は、有効な食べる遺伝子ワクチンを作ることには難しいだろうと思っ

ています。しかし、多少でも効果があれば、効果があるとして、食べる遺伝子ワクチンの実用化を強引にすすめるのではないかと危惧します。食べる遺伝子ワクチンの本来の目的は、生殖能力を減退させることにあるように

イルスや大腸菌のタンパク質を作らせることに成功しました。この実験によってじゃがいもから出る抗原蛋白質は、一部が分解を逃れて消化器を経由して血中に入ることが分かりました。しかし、未消化のタンパク質が血中に入るとは、本来あってはならないことです。未消化のタンパク質が血中に入ると、皮膚や粘膜のIgE抗体によ



聖なるスープ、豊受パバジスープ

食糧危機の主役に、食べるワクチンや食べられる遺伝子ワクチンは近い将来、質的食糧危機の主役になるでしょう。

多糖類は海藻類、根菜類、しいたけのペータグルカン、昆布のフコダイロン、ゴボウのイヌリン。

「植物は色々な免疫力を持っている。それを発揮させるために虫がいなくてほならない、カビが必要、それを農薬で殺してしまつたらどうなるか。植物がファイトケミカルを出しているかどうかかガキなのです。」

「植物は色々な免疫力を持っている。それを発揮させるために虫がいなくてほならない、カビが必要、それを農薬で殺してしまつたらどうなるか。植物がファイトケミカルを出しているかどうかかガキなのです。」

### 「遺伝子を実験室のピーカーから放出してはならない」の視聴を

#### ジェフリー・M・スミス監督



ジェフリー・M・スミス監督

「最初に思いついた博士は急性胃腸炎のウイルスと大腸炎の遺伝子をつなぎあがった遺伝子に組み込んでジャガイモ内でウ

世界で明らかになっていくゲノム編集技術が、いかに生態系に致命的な影響を与えているか、その問

「植物は色々な免疫力を持っている。それを発揮させるために虫がいなくてほならない、カビが必要、それを農薬で殺してしまつたらどうなるか。植物がファイトケミカルを出しているかどうかかガキなのです。」

「植物は色々な免疫力を持っている。それを発揮させるために虫がいなくてほならない、カビが必要、それを農薬で殺してしまつたらどうなるか。植物がファイトケミカルを出しているかどうかかガキなのです。」

「植物は色々な免疫力を持っている。それを発揮させるために虫がいなくてほならない、カビが必要、それを農薬で殺してしまつたらどうなるか。植物がファイトケミカルを出しているかどうかかガキなのです。」

「植物は色々な免疫力を持っている。それを発揮させるために虫がいなくてほならない、カビが必要、それを農薬で殺してしまつたらどうなるか。植物がファイトケミカルを出しているかどうかかガキなのです。」

「植物は色々な免疫力を持っている。それを発揮させるために虫がいなくてほならない、カビが必要、それを農薬で殺してしまつたらどうなるか。植物がファイトケミカルを出しているかどうかかガキなのです。」

満載の植物を食べる必要があるのです。そしてファイトケミカルについて言及した。ファイトケミカルは1万種類ありますが、そのうち90%は植物が作っています。大きく分類すると①カロチノイド、②ポリフェノール、③硫化化合物、④テルペン類、⑤多糖類、⑥アミノ酸関連物質。

詳しく説明すると、カロチノイドはニンジン、高菜に含まれるβカロテンなど。ポリフェノールはじゃがいも、ゴボウの皮のクロロゲン酸、ショウウカのシヨウウカオールなど。

硫化化合物は硫黄を含むもの。強い香り。大根、白菜のイソチオシアネート、玉ねぎのアリシン。テルペン類はハーブ類特有の香りや苦味。ショウウカのジンゲロール。多糖類は海藻類、根菜類、しいたけのペータグルカン、昆布のフコダイロン、ゴボウのイヌリン。

「植物は色々な免疫力を持っている。それを発揮させるために虫がいなくてほならない、カビが必要、それを農薬で殺してしまつたらどうなるか。植物がファイトケミカルを出しているかどうかかガキなのです。」

「植物は色々な免疫力を持っている。それを発揮させるために虫がいなくてほならない、カビが必要、それを農薬で殺してしまつたらどうなるか。植物がファイトケミカルを出しているかどうかかガキなのです。」